

授業概要

本講義では、教育法Ⅰにおける中学校社会科及び高等学校公民科に関する理論的・実践的な課題を踏まえて、それらの教科・科目を実践するための社会科教師としての資質を養うことを目的とする。具体的には、前半部では社会科・公民教育をめぐる教材研究、授業づくりの諸問題について講義し、それらを踏まえて自らの社会科・公民教育の授業観をもとに学習指導案を作成していく。後半部では、実際に授業の実践とその検討を行っていく。授業実践を通して、計画と実際の授業との違いについて体感し、他者との議論で改善点を見出す中で、よりよい社会科授業を創り、絶えず授業改善をしていく社会科教師の専門性の一端に触れていきたい。

授業計画

第 1 回	民主主義社会と公民教育——現代社会においてどのような市民を育てていくべきか？
第 2 回	公民教育とキーワード——「人間の尊厳」「自由」「平等」「民主主義」「責任」
第 3 回	生徒の「身近な」話題と教材研究——生徒の問題関心と社会や市民のビジョンの接続
第 4 回	学習指導要領と授業づくり・学習評価①——「資質・能力」とその評価
第 5 回	学習指導要領と授業づくり・学習評価②——「見方・考え方」の位置と機能
第 6 回	学習指導案の作成①——目標・評価と単元指導計画
第 7 回	学習指導案の作成②——授業計画と学習内容・学習方略；ICT 機器の活用
第 8 回	学習指導案の作成③——学習指導案の検討（ふりかえり①）
第 9 回	模擬授業と協議会①——憲法・政治単元
第 10 回	模擬授業と協議会②——消費・財政・経済単元
第 11 回	模擬授業と協議会③——法・労働・金融単元
第 12 回	模擬授業と協議会④——情報・生命・倫理単元
第 13 回	模擬授業と協議会⑤——国際・安全保障・環境単元
第 14 回	模擬授業と協議会⑥——地域問題・社会問題単元
第 15 回	授業観の再構成と社会科教師の専門性——指導計画と実際の授業のふりかえり②
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・公民教育に関する理論と実践の検討を踏まえて、自らの授業観を学習指導案に表現することができる。
- ・中学校社会科及び高等学校公民科の趣旨を踏まえて、社会科授業を実践・検討することができる。

履修上の注意

本講義は、中学校社会科及び高等学校公民科に関する教育法Ⅱの講義です。社会科・公民科教育法Ⅰを受けていることが前提となります。なお、学外施設で調査をすることも考慮しておいてください。

予習・復習

基本的には、教材研究や学習指導案の作成など授業の時間以外でもその精度を高めていってください。また、講義の中で紹介する関連文献や論文を読み進めるなど、教育実習に向けて社会科教師としての見識を深めていってください。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・学習指導案：30%
- ・模擬授業・協議会における活動とふりかえりシート：30%

テキスト

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書名：『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）
解説 社会編』 ・著者名：文部科学省 ・出版社名：東洋館出版社 ・出版年（ISBN）： | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書名：『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）
解説 公民編』 ・著者名：文部科学省 ・出版社名：東京書籍 ・出版年（ISBN）： |
|--|---|

参考文献：荒井正剛 (2022). 『中等教育社会科教師の専門性育成』学文社.
 橋本康弘 (2018). 『高校社会「公共」の授業を創る』明治図書.
 ジェームズ・P・シェーバー他 (2019). 『ハーバード法理学アプローチ——高校生に論争問題を教える』東信堂.
 メイラ・ロビンソン (2022). 『エンパワーメント・ギャップ——主権者になる資格のない子などいない』春風社.
 渡部竜也 (2019). 『主権者教育論——学校カリキュラム・学力・教師』春風社.
 社会認識教育学会 (2020). 『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』学術図書出版社.